西多摩医師会報

創刊　昭和47年７月　　第351号　平成14年３月

『琥珀中のクモ』　細谷純一郎

目　次

頁

1）都医功労賞
松原貞一、道又正達 両会員表彰される
広報部 … 2

2）第36回青梅マラソン大会開催される
森本　晉 … 2

3）がんばれ!! 横浜ベイスターズ
真鍋　勉 … 5

4）西多摩医療懇談会開催　玉木一弘 … 6

5）各部だより
学術インフォメーション　学術部 … 7

6）公立阿伎留病院外来部門診療担当医表
広報部 … 10

7）理事会報告　広報部 … 11

8）会員通知・医師会の動き　事務局 … 15

9）お知らせ・訃報　事務局 … 17

10）表紙のことば　細谷純一郎 … 18

11）あとがき　清水佐和道 … 18

新アドレス http://www.nishitama.tokyo.med.or.jp/

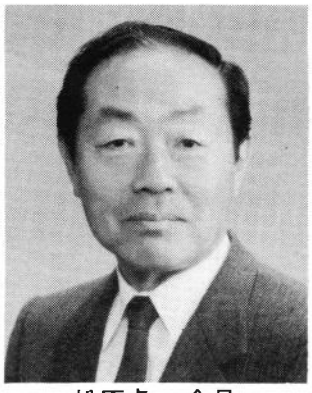
都医功労賞

松原貞一、道又正達 両会員表彰される

平成13年度東京都医師会年末懇親会にて、東京都医師会功労賞表彰式が行われ、西多摩医師会より松原貞一、道又正達両会員が表彰された。

従来都には、会務に功労があった会員に対する表彰制度はなかったが、平成13年度より表彰規定が定められた。

それにより、在任10年以上の表彰規定にしたがい西多摩医師会では公衆衛生委員の松原貞一会員と学校委員の道又正達会員が表彰された。



松原貞一 会員

道又正達 会員

第36回 青梅マラソン大会開催される

平成14年２月17日（日）青梅市最大のイベントである市民マラソン大会が開催された。われわれ医師会員も医務救護係として毎年参加しているが、１万人以上も参加する大会でしかも最高齢者が10キロの部で男性89歳、女性78歳、30キロの部で男性80歳、女性69歳となると途中で何が起こってもおかしくなく、最悪な事態が起こった時のことも考え、大会に先立つ２月４日に医師打ち合わせ会を開いていただいた。このような打ち合わせ会は今回が初めてであった。まずはその内容から述べる。

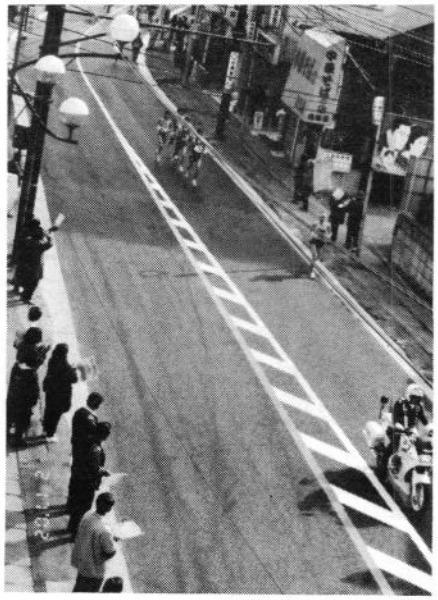
当日の出席者は大会関係者のほか医師側は青梅市立総合病院から５名、医師会から６名であった。まず主催者から過去の事例について説明があり、第11回大会で死亡例、第21回大会で植物人間になりその後転院して意識回復した例が紹介された。現在は傷害保険に加入しており主催者側が責任をもつとのことで、もし仮に保険会社が支払いに応じない場合も青梅市、陸協、報知新聞が対処するとの話であった。次に問題となったのは備品についてであった。各救護所ならびに私設救急車には酸素ボンベと簡単な救急セットは整っているが、その他については医師個人に用意してほしいとのことであった。医師会員は個人事業主であるためアンビュウバッグまで用意してくるという会員もいたが、市立病院の医

師は聴診器しか持ってこれないため主催者側が市立病院または健康センターから血圧計を調達することとなった。心強く思ったのは東京消防庁の救急車が4台今大会用に配置されていることであった。そして意識不明者が出た場合はその場の医師の判断で119番通報して良く、その上で本部に連絡することとなった。また私設の救急車は直接市立病院の救命センターに行っても良いことが確認された。その他細かいことがフリートーキングで話され無事に終わってあたりまえの大会を控えて大変意義深い打ち合わせ会であった。

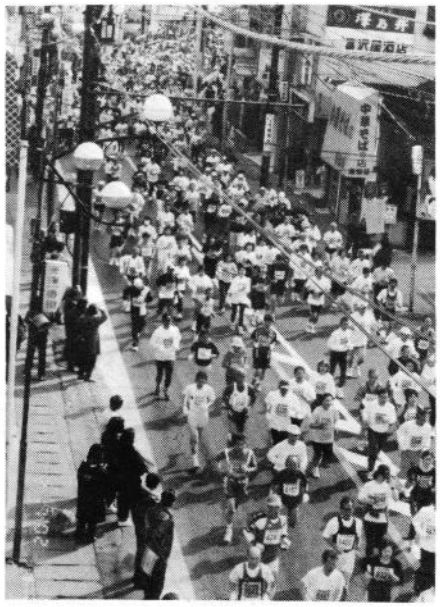
さて、大会当日30キロには1万2千人、10キロに3千人が参加した。主催者側は役員およびボランティアを含め2500人が参加した。そのうち市立病院から15名、医師会から10名の医師が医務救護係として参加した。今年の目玉は30キロのスターターを長島茂雄氏が務めたことであった。8時30分に体育館に集合し、各自持ち場に移動した。私は聴診器、血圧計、パルスオキシメーターを持参し、市民会館に詰めた。前回（救急車）とは異なり擦り傷、筋肉痛が主で救急車のお世話になるような選手は来なかった。そのためゆっくりマラソン見物となったと同時にさまざまなボランティアの方々の仕事にも接した。大勢の市民がボランティアとして参加し大会を盛り上げている姿が印象的であった。10キロには医師会の石田、大堀両会員と竹内青梅市長が参加していたが、参加者が多く一団となって走ってくる中から見つけ出すことは困難であった。逆に石田会員から声をかけられた。10キロの1位は男女ともに高校生で、男子は飯能高校の新井選手、女子は八王子高校の大久保選手で2人とも力強い走りで社会人、大学生を抑えた。若さってすばらしい、胸が熱くなった。30キロではスタートから6分でトップ集団が市民会館前を駆け抜けていったが、その後1万2千人が通過するまでに約30分かかった。最後尾の選手はすでに歩いているようなスピードで、市民マラソン大会ならではの光景であり今後の無事を祈らずにはいられなかった。30キロの1位はいずれも招待選手で、男子は森選手、女子は小松選手であった。今年は先導車の中に電気自動車を見つけた。常々マラソンの実況放送を見ていて、選手は排気ガスを吸いながら走っているようで何とかならないものかと思っていたので、救われる思いだった。今回は救命センターに搬送される選手はなく無事に終わった。

解散は流れ解散で、それぞれ家路につくボランティアの方々の顔には市民マラソン大会を支えたという満足感があふれていた。

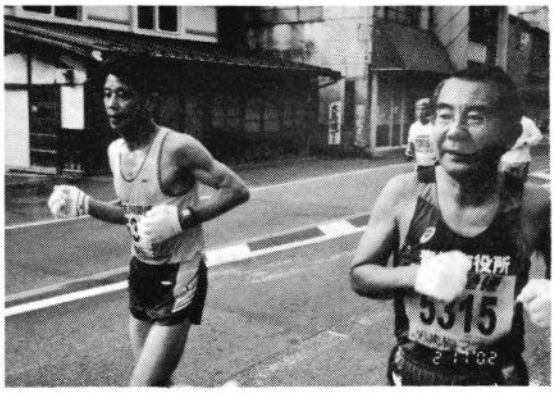
（文責：森本　晉）



10km トップ集団

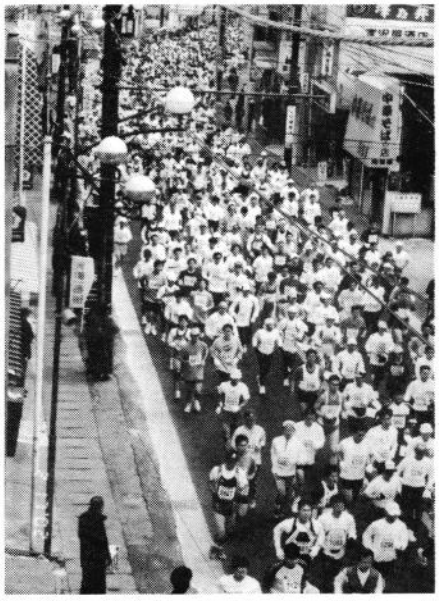


10km 一団となって

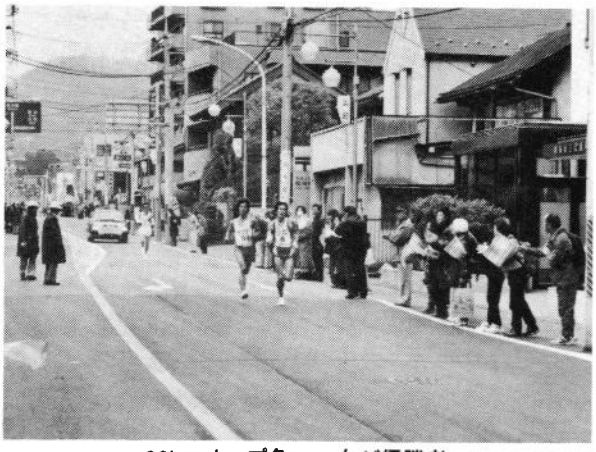


青梅市長の力走（右側）

30km トップ集団

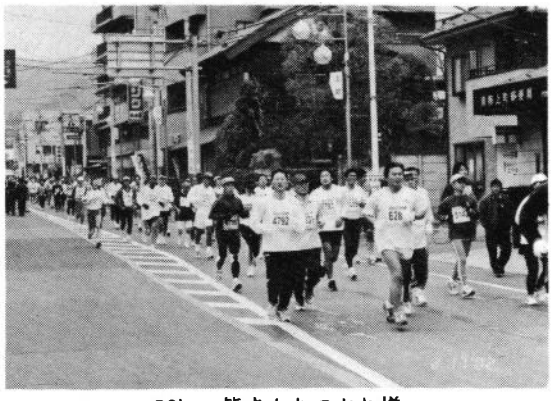


30km 一団となってぞくぞく来ます



30km トップ争い、右が優勝者

30km 女子 優勝者（中央）



30km 皆さんおつかれ様

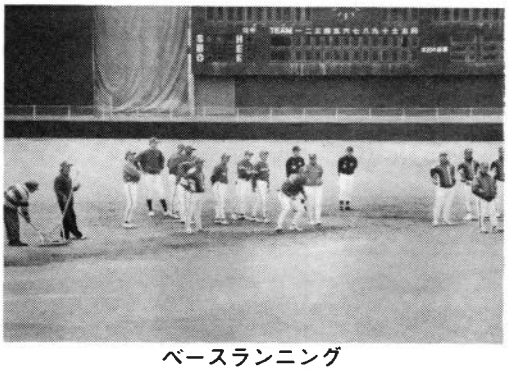
がんばれ!! 横浜ベイスターズ
＝ 沖縄キャンプ訪問記 ＝

真鍋　勉

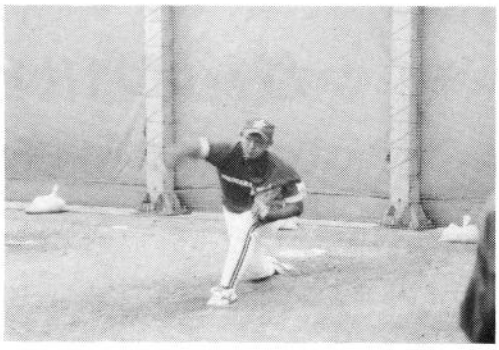
今年で３年連続となった横浜ベイスターズ沖縄キャンプ訪問は、例年東海大菅生高校野球部横井監督と玉木先生が一緒だったが、今年はお二人共受験が絡んでしまい、取り敢えず小生が２月９日出発となった。ニューヨークのテロ以来沖縄も例外ではなく、観光客は少ないものと思い、ぎりぎりに予約を入れたところ、９日～11日は連休とあって、流石に那覇市内はもとより周辺の民宿までいっぱいで、結局本島南部の玉城村（たまぐすく）の新原ビーチのペンションに泊るはめになった。那覇からタクシーで約4、50分かかったが、ペンションからの眺めは海水浴場として知られ、ガラスボート（海底観光船）も楽しめるという海岸線は文字どおり沖縄ならではのエメラルドグリーンであった。初日の９日はキャンプも休みというので、近くにある日本で２番目の長さを誇るという鍾乳洞で有名な玉泉洞王国村の観光で時間を費やした。夕方、玉木先生から連絡が入り、明日沖縄入り出来る由、明晩は賑やかになりそうである。ところで、何故に毎年ベイスターズの沖縄キャンプ訪問かという「わけ」に触れておきたい。数少ない（ゴロゴロ居るＧ党とは大変な違いだが）ベイファンが何故か西多摩医師会に４人も居る。青梅に大堀先生、福生に玉木、田村両先生、そして小生。数は少ないがＧ党ファンのような烏合の衆ではなく、熱狂的ファンを自任しているのだが、この４名が将来有望な若手選手を応援しようと意見がまとまっていた。そこへ登場したのが、東海大菅生高卒で三菱自動車川崎から2000年にドラフトで入団した中野渡進投手（羽村市出身）、小生が菅生高校創立以来の校医ということもあり、さっそく横井監督を通して中野渡選手の私設応援団が結成された、という「わけ」である。以来、毎年横浜球場観戦ツアーと沖縄キャンプ訪問を行っているのである。

10日の練習は10時にスタートしたが、昨日の20度を越える暖かさとうって変わって10日は気温も６～７度低くかつ風が強く、寒さの中での宜野湾のキャンプとなった。午前中は主に柔軟体操やらランニング、軽い昼食後選手はフリーバッティング、投手はピッチングに分かれての練習メニューだったが、フリーバッティングでは元ロッテの石井浩郎と新加入のグランが大きなあたりを飛して好調さを示していた。ピッチング練習は報道人しか公開しないのだが、かって知ったるドアからもぐり込んで観戦、木塚、福盛、矢野、中野渡と一線に並んで 150kmの速球を間近に見るのは野球好きには全くこたえられない。中でもケガで２年間泣いた矢野投手はコーチが言う

指示をする森監督



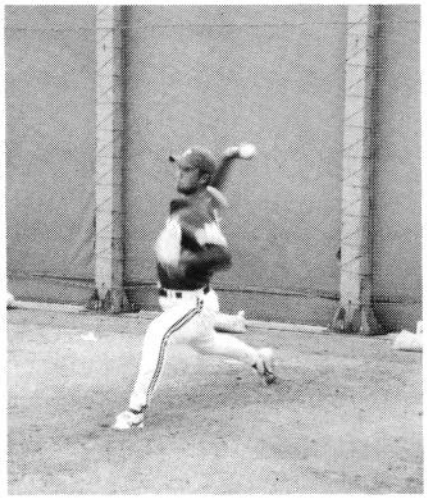
ベースランニング



期待の矢野投手

ように出来上りが良い様で、今年は先発ローテに入りそうだ。選手層が薄く、外傷人が出るとヤバイが、今年のベイスターズは結構面白いチームになりそう、否なってもらわねばならないと一人うなづいて夜の宴会を待つ事にした。

ミーティングの後かけ付けてくれた、中野渡選手、期待の矢野選手に加え欠端広報担当と長谷川チーフスカウト、そして間に合った玉木先生と明日の練習を気にしつつも、泡盛の盃を重ねて例年の如く今年のベイスターズ沖縄キャンプ訪問の夜は更けていったのである。



中野渡選手

西多摩医療懇談会開催

例年２月初旬に西多摩８首長と医師会役員の意見交換の場として開催されているが、本年も２月２日土曜日午後１時30分より約２時間、懇談会が開催された。昨年より開始された、高齢者のインフルエンザ予防接種の実施報告と今後の課題、八王子小児病院の統廃合に関連して、今後の西多摩の小児救急や夜間診療のあり方、介護施設利用時の介護保険主治医意見書の取り扱いについて、個人情報の保護と介護事業者への医療情報開示の整合性について等が議題となった。具体的方策に付いては、医師会と各市町村の実務担当者間で、継続的に検討して行くこととした。

（玉木）

各部だより

学術部 Information

≪3月≫

西多摩医師会学術講演会のご案内

1 日　時：平成14年3月11日（月）

場　所：西多摩医師会館

演　題：『不整脈治療－最近の動向－』

青梅市立総合病院循環器科　部長　大　友　建一郎 先生

第3回 パネルディスカッション『虚血性心疾患』

今回は、「虚血性心疾患」の第3回目として、――心筋梗塞の最近の治療から予後まで――と題しましてパネルディスカッションを行います。

特別講演は、自治医科大学附属大宮医療センター　循環器科教授　齋藤宗靖先生をお迎えし「心筋梗塞の慢性期治療とリハビリテーション」について約1時間の特別講演をお願いいたします。

慢性期心筋梗塞の薬物療法と運動療法をお話しいただけるとのことで、開業医として退院後の患者さんのフォローについて具体的なお話がお聞きできればと考えています。

第2部のパネルディスカッションでは、

救急治療の立場から、青梅市立総合病院　循環器科　副部長　加納寛先生に「心筋梗塞の急性期治療について」と題し急性期心筋梗塞の検査、処置についてお話をいただきます。

公立阿伎留病院　循環器科　鬼田敬洋先生に、「トロポニンT迅速判定キット（トロップT）の有用性と限界」と題し診断に苦慮する急性期心筋梗塞の症例についてお話をいただきます。

開業医の立場からは、横田クリニック　院長　横田卓史先生に「女性の狭心症―その臨床的傾向とは―」と題して狭心症の患者さんの具体的な症例をお話しいただきます。

先生方が日常診療において、感じる心疾患の基礎的なところから時代の最先端医療まで、開業医の為になる勉強会を行いたいと考え、今回の企画をしましたので、多数の先生方のご参加をお願い申し上げます。

西多摩医師会学術部部長　細　谷　純一郎

テーマ『虚血性心疾患』～心筋梗塞の最近の治療から予後まで～

日時：平成14年３月16日（土）午後２時～５時
会場：青梅市立総合病院南棟３階講堂

【プログラム】　司会：西多摩医師会学術部長　細　谷　純一郎 先生
座長：青梅市立総合病院　坂　本　保　己 先生

1．特別講演　「心筋梗塞の慢性期治療とリハビリテーション」
講師：自治医科大学附属大宮医療センター循環器科
教授　齋　藤　宗　靖 先生

2．パネルディスカッション（各演題発表時間15分）
(1)「心筋梗塞の急性期治療について」
……青梅市立総合病院　循環器科　副部長　加　納　寛 先生

(2)「トロポニンＴ迅速判定キット（トロップＴ）の有用性と限界」
（診断に苦慮する心筋梗塞症例）
……公立阿伎留病院　循環器科　鬼　田　敬　洋 先生

(3)「女性の狭心症－その臨床的傾向とは－」
……羽村市　横田クリニック　院長　横　田　卓　史 先生

《学術講演会要旨1》

平成14年1月25日（金）

演題：「脳梗塞の診断と治療」－最近の話題と病診連携に関して－

講師：東京医科大学八王子医療センター老年病科　部長　金　谷　潔　史 先生

脳血管障害はわが国の死因の第３位であるが、高齢者の有病率は依然として高く、痴呆や寝たきりの原因となることが多い疾患である。一方、発症後短時間内に適切な診断、治療が開始されたならば、決して治らない病気ではなく、後遺症も軽減できる。今回、脳血管障害の最新の診断、治療に関して以下の内容の講演を行った。

〈疫学〉久山町研究によると、脳血管障害全体の死亡率、発症率はこの30年間で著明に減少したが、病型別に見ると脳梗塞の減少は横這いである。さらに脳梗塞をサブタイプ別に分けると、ラクナ梗塞が減少、アテローム型脳梗塞と心原性脳塞栓症の増加が特徴である。

〈診断〉脳血管障害と診断した後は治療法の違いからその病型診断が重要となる。脳出血は頭部ＣＴで出血部位を確認できるが、脳梗塞の場合、アテローム型脳血栓、心原性脳塞栓症、ラクナ型梗塞の鑑別には、画像的アプローチ以外に発症様式、意識障害の程度等が重要

な要素となる。

〈急性期治療〉脳血栓症の場合、発症後早期であればオザグレル、アルガトロバンが有効であるが、脳塞栓症の場合は禁忌であり、ヘパリンによる再発防止、出血性梗塞合併時は血圧管理が重要となる。昨年使用許可されたエダラボンは、フリーラジカル除去を薬理作用とした脳保護剤であり、虚血に陥ったペナンブラの保護を目的とすることから、アテローム型、脳塞栓の両方に使用でき、早期使用によって臨床効果も確認されている。

〈慢性期治療〉再発予防を目的とする。脳血栓症の場合、抗血小板剤（アスピリン、チクロピジン）を、塞栓症の場合は抗凝固療法としてワーファリンを用いる。ワーファリンの有効性は、PTINR を指標として、2.0前後を目標にすると出血の合併も少なく理想的である。

〈病診連携、病病連携〉脳血管障害は早期治療が重要であることから、発症早期に急性期治療病院へ搬送、治療を行い、急性期を過ぎたならば速やかにリハビリ専門病院へ転院。また慢性期の再発予防の治療は、かかりつけ医が行うという円滑なシステムの構築がますます必要と考える。

《学術講演会要旨2》

平成14年1月31日（木）

演題：「急性肺塞栓症の診断と治療」

講師：武蔵野赤十字病院循環器科　丹　羽　明　博 先生

急性肺塞栓症（APE）は肺動脈の急性閉塞により、右心系の圧負荷や左室の狭小化が生じ、急速にショックや失神に至る重症な急性疾患である。本症は Economy Class 症候群として社会的にも知られ、医療事故との関連において医療側に注目されるようになった。

APE 非診断群の死亡は診断群に比し約４倍であり、診断の重要性は指摘されているが、診断自体も難しいことが知られている。院内発症例では特に発症数時間以内の死亡が多いことを報告した。早期診断は症状で疑い、聴診ではラ音が無くⅡ音が亢進、心電図では急性右心負荷所見、血液ガスでは低酸素・低炭酸ガス血症、心エコー図では右心の拡大が重要であることを強調した。確定診断は肺血流スキャン、肺動脈造影、造影ＣＴなどにより行う。

急性期治療は線溶療法、抗凝固療法、カテーテル・インターベンション、緊急肺動脈血栓除去術が行われるが、主体は前２法である。当院の治療方針は、二次予防を目的として一時的下大静脈フィルターを使用した上で、短時間で初期治療を開始すべく、線溶抗凝固療法を主体とする治療法を選択して、早期離床を促している。慢性期には経口抗凝固療法を行い、Ｄダイマーの推移を見ながら減量中止を行っている。

青梅市立総合病院医師研修会
西多摩医師会医療機能連携推進委員会　共催

広報部

公立阿伎留病院　外来部門診療担当医表

平成14年2月1日現在

	月	火	水	木	金	土
内科 1	馬　場	大　原	矢　嶋	馬　場	菅　野	休診
内科 2	佐　野	堀　井	黒　川	鬼　田	増　田	
内科 3	松　陰	持　丸	★小野・増田	黒　川	伊　藤	
内科 4	平　沼	須　金	佐　野	佐　野	持　丸	
午後診 血液専門外来		馬　場	持　丸	馬　場		
リウマチ科			西成田			
専門外来	神経内科（小野）	循環器 松陰（4・5週） 江本（PM）	腎　（蓬田）	糖尿病（藤原）	神経内科 小野 AM HOT 佐野 PM	
血液透析 午前	黒　川	黒　川	松　陰	増　田	鬼　田	
血液透析 午後	黒　川		黒　川		黒　川	
血液透析 夜間	増　田		松　陰		鬼　田	
人間ドック		黒　川		馬　場	馬　場	
小児科 専門外来（午後）	岩　本 北　澤	岩　本 北　澤 乳児検診（予約）	岩　本 北　澤 予防接種（予約）	岩　本 予防接種（予約）	岩　本 北　澤	
外科 1	矢嶋（予約）	矢　嶋	矢　嶋	矢嶋（予約）	堀　井	
外科 2	永　田	堀　井	藤原（形成）	永　田	遠　藤	
整形外科	小谷野 星	星 榮	小谷野 榮	小谷野 星	小谷野 坂　本	
脳神経外科	伊　藤	藤　塚	前　村	伊藤・◆矢崎	山　口	
皮膚科（午後診）	堀田（隆） 予約検査	堀田（隆） アレルギー外来（早川）	堀田（隆） 凍結療法	堀田（隆）	狩　野	
泌尿器科	朝　岡	仲野谷	朝　岡	朝　岡	朝　岡	
産婦人科 婦人科	森　田	斉藤（1・3・5週） 森田（2・4週）	斉　藤	森　田	斉　藤	
産婦人科 産科	斉　藤	近　藤	森　田	斉　藤	百　村	
眼科	平　岡 渡　邊	山　本 平岡・渡邊（手術）	平　岡	渡　邊 平岡（手術）	渡　邊	
眼科	予約検査	予約検査	予約検査	予約検査	予約検査	
耳鼻咽喉科	河　合 小　嶋	河　合 一　川	河　合 小　野	河　合 鈴　木	河　合 小　野	
耳鼻咽喉科	アレルギー外来	手　術	予約外来	手　術	予約外来	
麻酔科			丸　茂			
歯科口腔外科	山　下	山　下 柳　井	山　下	山　下	山　下	

● 内科診療及び午後診療は、予約を要します。

★ 内科外来水曜日は、小野（1・3・5週）、増田（2・4週）が診察を行います。

◆ 脳神経外科木曜日の矢崎Drは、午後の診療（専門外来「もの忘れ外来」を含む）となります。

理事会報告 ★ Information

1月定例理事会　平成14年1月22日　西多摩医師会館

〔出席者：宮川・真鍋・玉木・坂本・小机・細谷・石田・星野・神尾・丸野・葉山・横田・唐橋・森本・足立・松原〕

【1】 報告事項

1．都医地区医師会長協議会報告　（宮川会長）

Ⅰ．都医からの伝達事項

(1) 「肝がんの発生予防に資するC型肝炎検診の効果的な実施に関する研究」中間報告書について

40才から70才までを対象とし、5才間隔の節目検診を主体とし、5年間をかけて順次実施する。自治体と協議してもらいたい。この中間報告書を参考にされたい。

(2) （財）難病医学研究財団主催市民公開講座シンポジウム「子どもの病気」の開催について

1月25日、都道府県会館にて開催する。

(3) 老人保健法に基づく基本健康診査及び各種がん検診の集計票、帳票類について

都医の公衆衛生委員会より、老人保健事業について検討するために各種の様式を送付してもらいたい旨、依頼があった。

(4) 東京都災害時医療救護従事者登録制度の発足並びに登録について

一地区医師会2班とし、登録者を2月15日までに推薦する。
（一班の構成：医師・看護婦（士）・事務各1名）

(5) 都立病院改革マスタープランについて

21世紀の新しい都立病院の策定について、参考にされたい。

(6) 平成14年度休日・全夜間診療事業の実施に伴う参画施設の推薦について

二次救急医療医療機関で救急患者の受入れ実績が相当数あること。（推薦基準）

(7) 小児初期救急平日夜間診療事業補助（平成14年度新規事業）について

自治体と協議の上、実施する。（事業規模、14区市町村）

(8) 日本医師会認定産業医制度における研修会の指定について

(9) 医師国保組合被保険者証のカード化について

14年4月よりカードを被保険者一人につき一枚発行する。

(10)　業者による医療機器のＩＴ化補助金制度について

現在そのような制度はないので、注意するように。

Ⅱ．協議事項

なし。

Ⅲ．地区医師会からの報告

(1)　中野区医師会学術講演集について　（中野区医師会）

Ⅳ．その他

東京都災害時医療救護従事者登録制度について　―― 協議事項 ――

2．クリスマス会収支報告　―― 承認 ――

3．14年新年賀詞交歓会収支報告　―― 承認 ――

4．各部報告

（学　術　部）　1月25日（金）学術講演会。

5．各地区会よりの報告　（各地区長）

（青　梅）　2月7日（木）役員会：来期役員選出について
50周年記念事業について

（福　生）　1月17日（木）新年会。

（羽　村）　1月11日（金）新年会。

（あきる野）　1月21日（月）例会：母子保健・予防接種について。
休日診療について。
校医の推薦について。
あきる野市福祉事務所嘱託医について。

（瑞　穂）　1月25日（火）地区会：三混ワクチンの個別化。
ツ反・ＢＣＧの外部依託について。
乳幼児健診について。

（日の出）　1月18日（金）教育委員会の新年会。

6．その他

なし。

【2】 報告承認事項

1．入会会員について ―― 承認 ――

入会Ｂ会員　１名　高木病院

氏名変更　すみれ小児クリニック　河村有美会員 → 武田有美会員

2．14年度羽村市公立学校医の推薦について ―― 承認 ――

	《内科医》	《眼科医》	《耳鼻咽喉科医》
羽村東小学校	東　吉男会員	真鍋　勉会員	山田　登会員
羽村西小学校	関谷進一郎会員	真鍋　勉会員	山田　登会員
富士見小学校	堤　次雄会員	山下　和雄会員	山田　登会員
栄　小学校	小崎　有恒会員	真鍋　勉会員	山田　登会員
松　林小学校	塩澤　三朗会員	山下　和雄会員	山田　登会員
小作台小学校	松田三樹雄会員	真鍋　勉会員	込田　茂夫会員
武蔵野小学校	滝浦　復平会員	山下　和雄会員	山田　登会員
羽村第一中学校	奥村　充会員	真鍋　勉会員	込田　茂夫会員
羽村第二中学校	寺尾　統彦会員	山下　和雄会員	込田　茂夫会員
羽村第三中学校	村山　正昭会員	山下　和雄会員	込田　茂夫会員

【3】 協議事項

1．次期役員選挙日程（各地区理事定数及告示日）について

2．14年度事業計画の提出について

次回理事会前日までに事務局に提出する。

3．14年度の保険整備委員会日程と診療報酬請求書の提出日について ―― 承認 ――

4．西多摩地区医療懇話会日程について

２月２日（土）ＰＭ１：30～（開催場所　魚観荘　042-558-2255）

5．次年度職員給料について ―― 承認 ――

6．13年度地域医療研修推進事業報告及び13年度医療機能連携推進事業会計収支（案）について

―― 承認 ――

7．その他

○インフルエンザ予診票の管理について

2月定例理事会　平成14年2月12日　西多摩医師会館

〔出席者：宮川・真鍋・坂本・小机・細谷・石田・足立・神尾・丸野・葉山・横田・森本・玉木・松原〕

【1】　報告事項

1．西多摩地区医療懇話会報告　（玉木副会長）

2月2日（土）8市町村と医師会理事との懇話会。

2．各部報告

（学　術　部）　3月16日（土）パネルディスカッション。
（経　理　部）　2月21日（木）経理部会。
（病　院　部）　2月19日（火）病院部と地域医療部による、医療連携推進委員会開催。

3．各地区会よりの報告　（各地区長）

（青　梅）　2月4日（月）青梅マラソン医師会打ち合わせ会。
　　2月7日（木）役員会、役員選出について。
（福　生）　なし。
（羽　村）　2月13日（水）幹事会、役員選出について。
（あきる野）2月18日（月）例会、役員選出について。
（瑞　穂）　欠席。
（日の出）　2月15日（金）定例会、役員選出について。

4．その他

なし。

【2】　報告承認事項

1．入会会員について　―― 承認 ――

B会員　公立阿伎留病院2名

2．平成14年度奥多摩町立学校医の推薦について　―― 承認 ――

川　辺　隆　道会員　　氷川小学校・氷川中学校
皆　川　俊　一会員　　古里小学校・古里中学校
川　辺　昌　道会員　　小河内小学校・小河内中学校

3．平成14年度あきる野市立小中学校学校医（内科医）の推薦について ―― 承認 ――

《小学校》

東秋留小学校	下　村　　禎	会員
多　西小学校	瀬戸岡　俊一郎	会員
西秋留小学校	近　藤　之　暢	会員
屋　城小学校	星　野　　誠	会員
南秋留小学校	植　田　　稔	会員
草　花小学校	伊　藤　敬　一	会員
一の谷小学校	葉　山　　隆	会員
前　田小学校	齋　藤　信　幸	会員
増　戸小学校	明田川　修　生	会員
五日市小学校	鈴　木　道　彦	会員
戸　倉小学校	池　谷　俊　郎	会員
小　宮小学校	池　谷　俊　郎	会員

《中学校》

秋　多中学校	樋　口　昭　夫	会員
東　　中学校	米　山　秀　雄	会員
西　　中学校	秋　山　静　夫	会員
御　堂中学校	朱膳寺　洋　文	会員
増　戸中学校	栗　原　琢　磨	会員
五日市中学校	小　机　敏　昭	会員

4．定款施行規則文言の訂正について

以下の条文の都国保連合会福生病院を公立福生病院になおす。

（病院理事の選出）

第50条　定款第12条に規定する理事のうち１名を青梅市立総合病院、都国保連合会福生病院及び公立阿伎留病院の３病院間の互選により選出（以下病院理事という）する。

5．日本医師会予備代議員候補者の推薦について ―― 承認 ――

宮　川　栄　次会長を推薦。

【3】　協議事項

1．14年度事業計画（案）について ―― 承認 ――

2．平成13年度第二回定時総会議題について ―― 承認 ――

3．東京都災害時医療救護従事者登録者（青梅地区）の推薦について ―― 承認 ――

福生クリニック　　玉　木　一　弘会員

細谷内科医院　　細　谷　純一郎会員　を推薦。

4．その他

なし。

会員通知

○会報

○第3回パネルディスカッションのお知らせ

○平成14年度診療報酬請求書提出日一覧表

お知らせ

事務局より お知らせ

平成14年4月（3月診療分）の

保険請求書類提出

4月8日（月）

―― 正午迄です ――

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士　鈴木禧八先生による法律相談を毎月第二水曜日午後二時より実施しておりますのでお気軽にご相談ください。

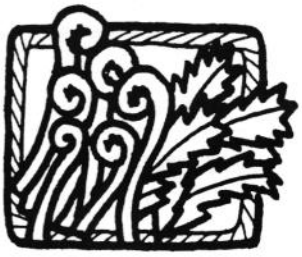
◎相談日　**3月は13日（水）**
4月は10日（水）の予定です。
◎場　所　西多摩医師会館和室
◎内　容　医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・刑事に関するどのようなものでも結構です。
◎相談料　無料（但し相談を超える場合は別途）
◎申込方法　事前に医師会事務局迄お申込み願います。
（注）先生の都合で相談日を変更することもあります。

訃報

竹内春枝　様

青梅市仲町256
竹内医院
竹内　靖信　院長（奥様）

去る2月16日ご逝去されました。
謹んでお悔やみ申し上げます。



表紙のことば

『琥珀中のクモ』

昆虫化石入りの琥珀（有史前の樹脂が化石化したもの）は、一般的に“虫入り琥珀”と呼ばれ、ジュラシック・パーク等で有名になりました。琥珀中に内包された生物の化石は、その当時の生きていた姿そのままの完全体の化石が多く見られます。昆虫化石体内からのＤＮＡ検出もなされ研究者たちから注目されています。

この写真の琥珀は、新生代古第三紀始新世後期（約4000万年前）のバルト海沿岸地方産のものです。昨年、久慈に旅行した時、ペンダント・トップとして売っていたものを手に入れました。アリ・トビムシも一緒に中に入っています。私の化石コレクションの中の“お気に入り化石”の一つです。

細谷純一郎

あとがき

2002年も早いもので、もう三月となりました。年々、月日の流れを早く感ずるのはいたしかた無い事なのでしょうか。それとも私だけが、このように感じているのでしょうか。子供の成長を見るのは喜ばしいことですが、一方では自分の肉体的変化（体型、機能を含め）を寂しく実感している今日この頃です。あえて自然に逆らうのでなく、上手に経年変化を受入れ、楽しんでいきたいと思っております。やはり無理はいけません。各年代ごとに、年相応をバランス良く謙虚に甘受したいものです。あくまでも素直な気持ちで。

先日、ある御老人が３カ月ぶりに受診されました。その理由とは、戦友会の温泉旅行で、入浴中溺死状態となり、８日間意識不明の状態で、その後も大事をとって入院治療していた由。「だいぶ肺に、お湯が入っていたので担当医も、もうダメだと考えていたようですが、このとおり私はピンピンしてますよ。」とのこと……医学的に考えると、かなりの脳障害等を残されたのではと思いますが、なんと後遺症は皆無で元気に日々過ごされています。皆さんは、どう思われますか？

さらに、その方曰く「私は戦争中に三度死に目に会って、そして今度の件からも考えるに、人の生き死にと言うものは、幼くして死ぬ人もいれば長寿を全うする人もいる、つまり行き着くところ、人は病気で死ぬのではなく、各人の持って生まれた寿命で死ぬんだよ。先生はそうは思わないかい？」と。

実体験に基づく貴重な御意見を伺えた、ある日の診察室での出来事でした。百の文献を読むより、別の意味で患者さんから死生観について教えられたような気がします。

皆様、くれぐれも『寿命』をお大切に！

清水佐和道

社団法人　西多摩医師会　　平成14年3月1日発行

会長　宮川栄次　〒198-0044 東京都青梅市西分町3-103　TEL 0428 (23) 2171・FAX 0428 (24) 1615

会報編集委員会　森本　晉
石井好明　神尾重則　片平潤一　込田茂夫
清水佐和道　高水松夫　田村啓彦　細谷純一郎

印刷所　マスダ印刷　TEL 0428 (22) 3047・FAX 0428 (22) 9993

健康が21世紀の扉を開く

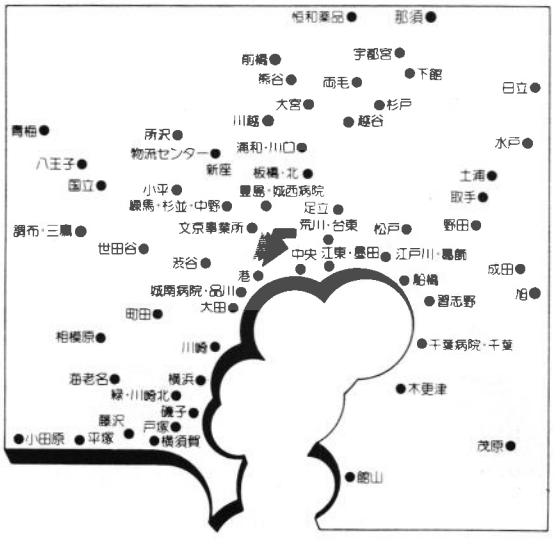
命の輝きを見つめ続けて‥‥
㈱武蔵臨床検査所

食品と院内の環境を科学する
F・Sサービス

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309－8
TEL 042-964-2621 FAX 042-964-6659

医薬品総合商社
FUKUJIN

地域社会の健康に奉仕する
福神ネットワーク



病院一・1		北		相	模	原	所	沢	
病院一・2	豊	島		藤	沢		川	越	
病院二・1	品	川		海	老	名	宇	都	宮
病院二・2	大	田	一	平		塚	那	須	
城西病院	大	田	二	小	田	原	両	毛	
城南病院	世	田	谷	千	葉	病	前	橋	
文京	世	田	谷	千	葉		水	戸	
千代田	渋	谷		成	田		土	浦	
新宿	国	立			旭		取	手	
中央	八	王	子	習	志	野	日	立	
港	青	梅		松	戸		下	館	
足立	町	田		野	田		特販部		
江戸川	小	平	一	船	橋		医療機器部		
葛飾	小	平	二	木	更	津	CSS部		
江東	調	布		館	山		診断薬部		
墨田	三	鷹		茂	原		物流センター		
荒川	横	浜		浦	和		文京医薬品センター		
台東		緑		川	口		調布医薬品センター		
練馬	川	崎	北	越	谷		練医薬品センター		
杉並	川	崎		杉	戸		株式会社恒和薬品		
中野	磯		子	大	宮				
板橋一	戸	塚		熊	谷				
板橋二	横	須	賀	新	座				

福神株式会社
本 社 〒101 東京都千代田区内神田一丁目12番1号
TEL.03(3292)3331(代表)

経口用セフェム系抗生物質製剤

指定医薬品，要指示医薬品 注1)

フロモックス®

錠 75mg・100mg
小児用細粒 100mg

塩酸セフカペン ピボキシル錠/細粒　略号 CFPN-PI

注1）注意-医師等の処方せん・指示により使用すること

■薬価基準収載
■「効能・効果」，「用法・用量」，「禁忌」，「原則禁忌」，「使用上の注意」等については添付文書をご参照下さい。

〔資料請求先〕 塩野義製薬株式会社　製品情報部　〒541-0045 大阪市中央区道修町 3-1-8

2001.5 作成 B52 ®：登録商標

シオノギ製薬
大阪市中央区道修町 3-1-8 〒541-0045

FOR QUALITY OF LIFE
SINCE 1955

臨床検査のフロンティア
保健科学研究所は
21世紀の医療と健康を
バックアップします

株式会社 保健科学研究所

● 本　社　〒240-0005　横浜市保土ヶ谷区神戸町106　045-333-1661（大代表）